

県下1位の生産量！フラワーアレンジメントでも人気！
「クルクマ」出荷ピーク！
【7月下旬／碧南市内で収穫風景を紹介します】

JAあいち中央碧南クルクマ部会（部会長：林口勇）が栽培するクルクマが、7月中旬から出荷の最盛期を迎えます。クルクマは東南アジア原産のショウガ科の植物です。1990年に大阪で開かれた「国際花と緑の博覧会」で初めて紹介されたもので、碧南市では93年から全国でもいち早く切り花の生産を始めました。

暑さに強く、ハスの花に似ていることから、主に仏花として用いられるため、新盆、旧盆の需要に合わせて栽培しています。夏場でも日持ちが良く、明るい色の品種が多いことから、ブライダルやフラワーアレンジメントでも人気です。

今年は2月下旬からの定植以降、温かい日が続き出荷が早まると予想されましたが、4月から5月にかけて冷え込む日があったことから、例年並みの生育となりました。品質は色・ボリュームともに良好です。



収穫する生産者

碧南市で栽培している品種

同部会では、主力品種の「シャローム」を中心に苞葉（葉の一種）が緑色の「チョコゼブラ」、白色の「モンブラン」など、20品種を栽培しており、「シャローム」が全体の約5割を占めています。

クルクマの花びらに見えるものは、苞葉で、その下の小さい紫色のものが花です。



紫色の小さいクルクマの花



主力品種の「シャローム」

JAあいち中央碧南クルクマ部会

部会員：8人

栽培面積：約1.1ヘクタール

出荷時期：6月上旬～10月下旬（最盛期：7月中旬～8月上旬）

総出荷量：約35万本（全品種で）

流通先：東北・関東（約8割）を中心に、甲信越・中京市場にも出荷しています。

<メディア対応>

日時：2023年7月下旬

集合場所：JAあいち中央碧南ひがし支店（碧南市照光町5-27）

※碧南市内のハウス（車で約5分移動）で収穫作業の撮影、生産者へのインタビューを予定しています。

※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp